

避難場所・避難所：(NO. 27) アスカル幸手・(NO. 32) ウェルス幸手

- ・圏央道の側道を利用する避難経路。距離は長いが安全な避難経路。
- ・さくら小への避難の迂回避難場所としての避難経路。両側田んぼ道あり。

避難場所・避難所：(NO. 3) 上高野小学校

- ・圏央道の側道は安全であるが鉄道のオーバブリッジを昇降することになる。一般道は歩道が狭く東武鉄道の踏切を横断する。

3. 地震時の避難経路の設定と避難場所

- 1) 夜間に避難せざるを得ない場合の街路灯の有無。圏央道の側道は街路灯なし。田んぼ道の街路灯も数が少ない。停電も考えられる。
- 2) ブロック塀、電柱、高木の倒壊による避難障害は避難経路を迂回することになる。

避難場所・避難所：(NO. 10) さくら小

- ・倉松川に架かる橋の落橋のリスクは考慮していない。
(大堰橋：平成 18 年竣工、緑台歩道橋：平成 14 年竣工、天神島橋：平成 10 年竣工)

避難場所・避難所：(NO. 7) さかえ小

- ・圏央道の大規模な倒壊は考慮しない。部分倒壊等により避難できなければ、避難場所をアスカル幸手・ウェルス幸手に変更する。

避難場所・避難所：(NO. 33) 日本保健医療大学幸手南キャンパス

- ・令和 4 年 4 月に避難所兼避難場所に新しく登録された。ヨークフーズを経由する避難経路及び幅員は狭いが田んぼ道を経由する避難経路。

避難場所・避難所：(NO. 27) アスカル幸手

避難場所：(NO. 32) ウェルス幸手

- ・避難経路 A：さくら小への避難の迂回避難場所としての避難経路。両側田んぼ道。
- ・避難経路 B：圏央道側道の避難経路：距離は長いが安全な避難経路。

避難場所・避難所：(NO. 3) 上高野小学校

- ・圏央道の側道は安全であるが鉄道のオーバブリッジを昇降することになる。一般道は歩道が狭く東武鉄道の踏切を横断する。